

# 令和元年度 学校評価まとめ

## 1 職員アンケート結果

### 《自己評価Aの結果》

		調査項目	1回目	2回目			調査項目	1回目	2回目
1	① 学び	授業規律	3.79	3.72	11	③ 主体性	学級活動	3.47	3.17
2		学び合い	3.42	3.34	12		生徒会活動	3.25	3.00
3		発問、説明、板書	3.36	3.22	13		人間関係の構築	3.35	3.21
4		ICT機器の活用	3.18	3.09	14		危機管理能力	3.32	3.12
5		評価・評定	3.73	3.66	15		進路指導・キャリア教育	3.19	3.03
6	② 思いやり	あいさつ	3.79	3.58	16	④ 歌声	表現力の育成	3.38	3.16
7		学級経営	3.42	3.22	17		音楽集会	3.35	3.17
8		道徳教育	3.38	3.19	18		行事における音楽指導	3.35	3.29
9		清掃・集会指導	3.41	3.30					
10		規範意識	3.38	3.21					

		調査項目	1回目	2回目				
19	⑤ 地域	保護者地域対応	3.79	3.61				
20		家庭との連携	3.55	3.27				
21		地域の教育力の活用	3.18	2.88				
22		幼小中高連携	2.82	2.82				
23		関係諸機関との連携	3.18	2.79				

3.5を越える評価となった項目は、1「授業規律」、5「評価・評定」6「あいさつ」、19「保護者・地域対応」、20「家庭との連携」(2回目)となった。

3.0を下回る結果となった項目は、21「地域の教育力の活用」(2回目)、22「幼小中高との連携」、23「関係諸機関との連携」(2回目)となった。

全体的に3.0を上回ることができ、特に「規律」や「保護者や地域への対応」について意識が高く取り組むことができた。しかし、「幼小中高との連携」や「地域や関係諸機関との連携」については、実際の活動としてどのように取り組んでいくべきかという課題がある。

### 《自己評価Bの結果》

	調査項目	1回目	2回目		調査項目	1回目	2回目
1	学校教育目標	3.24	3.19	13	進路指導・キャリア教育	3.15	3.05
2	教育課程	3.29	3.29	14	健康・安全指導	3.30	3.11
3	校務分掌	3.50	3.18	15	給食指導・食育指導	3.47	3.18
4	教科指導	3.40	3.29	16	校内環境	3.30	3.24
5	評価活動(学習評価)	3.42	3.39	17	情報教育(ICT活用)	3.40	3.35
6	人権教育	3.21	3.06	18	学校図書館教育	2.79	2.58
7	道徳教育	3.23	3.02	19	学校行事	3.38	3.20
8	特別支援教育	3.35	3.05	20	校内研修	3.24	3.12
9	生徒会活動	3.11	2.91	21	施設・設備	3.29	3.24
10	総合的な学習の時間	3.21	3.00	22	地域との連携	3.06	3.00
11	学級活動	3.14	3.00	23	職員関係	3.38	3.29
12	生徒指導・教育相談	3.44	3.31				

全体的に、3.0を超えており、学校教育目標の達成を目指し、バランスのとれた教育活動が展開されていると考える。全ての項目で、1回目よりも2回目の結果が下回っていることについては、各教科、校務分掌等の校内研修を行い、意識の向上と実践に努める。

3.0を下回る結果となった項目は、9「生徒会活動」(2回目)、「学校図書館教育」となっている。今後は、より生徒が主体となった活動を、教員が意図的に取り入れる。また、タブレットの導入により調べもの学習で、インターネットを利用することが多くなってきているが、図書ならではの良さを学習に活用できるよう工夫していく。

## 2 生徒アンケート結果

	調査項目	R1		調査項目	R1
1	学校生活	3.49	9	ルール(学校生活)	3.67
2	授業	3.41	10	あいさつ	3.43
3	学習課題	3.16	11	交通ルール・マナー	3.68
4	ICT機器の活用	3.29	12	言葉遣い	3.45
5	協働学習	3.51	13	ボランティア	2.87
6	振り返り	3.11	14	他者との関係	3.63
7	学校行事	3.57	15	清掃活動	3.55
8	生徒指導	3.54	16	部活動	3.51

3.5を上回る評価となった項目は、5「協働学習」、7「学校行事」、8「生徒指導」、9「ルール(学校生活)」、11「交通ルール・マナー」、14「他者との関係」、15「清掃活動」、16「部活動」であった。

- 5「あなたは、ICT機器(タブレット・大型モニタ・プロジェクタなど)を使った授業はわかりやすいと感じている。」
- 7「あなたは、学校行事(体育祭・合唱祭など)に積極的に取り組んでいる。」
- 8「あなたは、先生がトラブルに対してすばやく対応してくれると感じている。」
- 9「あなたは、学校生活のルールを守っている。」
- 11「あなたは、交通ルールやマナーを守っている。」
- 14「あなたは、いじめや意地悪をすることなく、他者を大切にしている。」
- 15「あなたは、一生懸命掃除をしている。」
- 16「あなたは、部活動に積極的に取り組んでいる。(取り組んでいた。3年)

本校の生徒は、全体的に前向きに学校生活全般に取り組んでいる。特に学校生活のルールを守り、他者を大切にしながら学校行事、清掃、部活動に取り組んでいることがうかがえる。授業面では、協働的に学びながらICT機器を活用することで理解の深まりを感じているようである。

### 3 保護者アンケート結果

	調査項目	R1		調査項目	R1
1	学力向上	3.10	14	他者との関係	3.08
2	共感	3.11	15	学校経営	3.04
3	自立	3.06	16	安全指導	3.10
4	あいさつ・清掃	3.17	17	教育活動	2.98
5	授業内容	3.06	18	情報公開	3.24
6	学習態度	2.82	19	一人ひとりを大切にする教育	2.96
7	家庭学習の習慣化	2.68	20	個人情報	3.23
8	学習評価	3.03	21	生徒理解	3.06
9	進路指導・キャリア教育	3.06	22	教育相談	3.10
10	生命・思いやり	3.10	23	体力向上・健康	3.19
11	いじめ防止	2.90	24	家庭との連携	3.23
12	社会のルール	3.12	25	学校行事	3.48
13	あいさつ・礼儀	3.14			

比較的、数値が高かった項目は、18「情報公開」、20「個人情報」、24「家庭との連携」、25「学校行事」である。

- 18「学校は、教育活動について学校便り・HP等で公表している。」
- 20「学校は、子供に関するプライバシーをきちんと守っている。」
- 24「学校は、家庭への連絡を行っている。」
- 25「学校は、授業や学校行事等を参観する機会を設けている。」

3.0を下回る結果となった項目は、6「学習態度」、7「家庭学習の習慣化」、11「いじめ防止」、17「教育活動」、19「一人ひとりを大切にする教育」であった。

- 6「生徒は、学校で一生懸命勉強に取り組んでいると感じる。」
- 7「学校は、家庭学習の習慣化を図る指導を行っている。」
- 11「学校は、いじめの未然防止にかかわる取り組みを行っている。」
- 17「学校は、子供が生き生きとするような教育活動を行っている。」
- 19「学校は、一人ひとりを大切にする教育を行っている。」

#### 【保護者が「学校で特に身につけさせたいこと」「学ばせたいこと」】

「基礎的な学力(読み・書き・計算)」「コミュニケーション能力」「社会性」が上位3つの項目となった。保護者は、毎日の授業を教員がしっかりと行い、我が子の基礎学力の定着を望んでいる。また、学校生活の中で、他者とよく関わり合うことで「社会性」や「コミュニケーション能力」を身に付けてほしいと感じているようだ。いつの時代においても必要であると考えられる大切な部分を学校教育に求めていることが分かる。

#### 4 学校関係者（学校運営協議委員）からいただいたご意見・ご感想

- ・教職員の自己評価結果の2回目が低くなっているところが多いが、教職員の方々が自信をもち、モチベーション高く教育活動に取り組んでいてもらいたい。
- ・生徒があいさつ運動で声を出したり、お互いに声をかけ合ったりすることにより信頼し合い、自信をもった行動を取ることができるようにしてもらいたい。
- ・教職員と生徒のみなさんの信頼関係ができており、生徒が教職員に相談しやすい環境づくりができています。
- ・学校評価の質問項目や実施方法などは、試行錯誤しながら改善できることを改善していけるといい。
- ・学校評価が、評価のための評価とならないようにしていかなければならない。
- ・目指す生徒像、学校像を具現化できるような取組を続けていてもらいたい。
- ・吹奏楽部、演劇部などの部活動で、地域の行事に積極的に参加することができ、地域とのつながりを感じることができた。